

NOK グループ° グリーン調達ガイドライン

2026年 4月1日 (Ver.6)

NOK 株式会社

目次

1. はじめに	… p.3
2. 環境基本方針について	… p.4
3. 仕入先様にお願いする事項	… p.5
(1) 「環境マネジメントシステム」の構築	
(2) 温室効果ガス（GHG）の削減	
(3) 資源循環の推進	
(4) 水資源の保全	
(5) 生物多様性への配慮	
(6) 化学物質管理	
4. ガイドラインの取扱いについて	… p.9
5. 個人情報の取扱いについて	… p.9
6. 「NOKグループ グリーン調達ガイドライン」に関する問い合わせ先	… p.9

1. はじめに

日頃より、NOK グループの調達・生産活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

NOK グループは、合成ゴムや樹脂などの高分子材料を用いたシール製品、防振ゴムなどの自動車部品、電機電子関連部品など、幅広い産業分野において様々な製品を世界中に提供しています。私たちは、事業活動において消費する資源やエネルギー、水資源、そして発生する廃棄物の削減に努め、地球環境の保全と循環型社会の構築に貢献することを企業の社会的責任と考えています。

近年、地球環境は温暖化や異常気象、資源枯渇、廃棄物の大量発生など、深刻な課題に直面しています。こうした状況の中、企業にはより一層環境に配慮した事業活動が求められており、NOK グループもカーボンニュートラル、サーキュラーエコミーなど、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

NOK グループの事業活動は、原材料や部品、副資材、梱包資材、事務用品など、仕入先様からご提供いただく製品やサービスによって支えられています。私たちが社会的責任を果たし、お客様や地域社会の期待に応えていくためには、仕入先様のご協力が不可欠です。

本ガイドラインは、NOK グループと仕入先様がともに環境負荷低減や資源循環、水資源の保全、生物多様性への配慮、化学物質管理など、持続可能な社会の実現に向けて取り組むための指針です。仕入先様におかれましては、本ガイドラインの趣旨・内容をご理解いただき、私たちと力を合わせて、より良い未来のためにご協力くださいますようお願い申し上げます。

2. 環境基本方針について

環境基本方針

NOK グループが社会の一員であることを前提に、事業の活動・製品及びサービスが広く地球規模での環境影響に関わりを持つことを全社員が認識し、持続的な発展が可能な社会の実現に貢献すべく会社の環境基本方針を定め、次世代以降も視野に入れた環境保全管理に努めます。また、従業員をはじめ、原材料調達、生産、物流、使用、廃棄に至るまでのバリューチェーン上の取引先、株主、地域社会など社内外のステークホルダーと協力し、継続的な環境負荷低減に取り組みます。

1. 従来の固有技術を踏まえ、環境保全に配慮した技術の向上・製品の開発を推進し、環境負荷の低減に努めます。
2. 環境に関連する法規制、地方自治体条例、地域協定等を順守し、環境保全活動を推進します。
3. 脱炭素社会を実現するため、化石燃料の使用低減および事業活動における温室効果ガスの削減を推進します。
4. エネルギー資源を有効に活用するため、エネルギー使用の効率化と再生可能エネルギーの拡大に努めます。
5. 持続可能な原材料の調達に努めるとともに、原材料使用および廃棄物の削減、再利用、再生資源化を推進し、循環型社会に貢献します。
6. 水資源を保全するため、効率的な水使用を推進するとともに、適正な水質管理に取り組みます。
7. 生物多様性への影響を評価し、取引先や外部団体と連携しながら地域の特性に合わせた生物多様性保全活動を推進します。
8. 化学物質の管理を徹底し、地球環境の汚染防止を図るとともに、環境負荷のある物質の削減に努めます。
9. 環境に関する適切な情報開示を行い、地域・社会とのコミュニケーションを図るとともに、全社員への教育・啓発活動を推進し、地球環境保全への意識高揚に努めます。
10. 環境負荷低減のための目標設定および活動を推進、定期的に進捗状況を評価することで環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

2001年9月17日 制定

2024年12月17日 改訂

NOK 株式会社 代表取締役 社長執行役員 グループ CEO

鶴 正雄

3. 仕入先様にお願いする事項

当ガイドラインにおいて仕入先様に取り組みをお願いする項目は以下です。

仕入先様へのお願い事項			お取引内容			
			原材料・部品	副資材	包装・梱包資材	設備・治工具
(1)	環境マネジメント	環境マネジメントシステムの構築	○	○	○	○
		法令の遵守	○	○	○	○
(2)	温室効果ガス(GHG)の削減	ライフサイクル全体での温室効果ガス(GHG)排出量の把握と削減	◎	◎	◎	○
		エネルギー使用量の把握と効率向上	◎	◎	◎	○
		物流における GHG 排出量の削減	○	○	○	○
(3)	資源循環の推進	枯渇性資源の使用量削減	○	○	○	○
		再生材の活用	○	○	○	○
		廃棄物の削減	○	○	○	○
(4)	水資源の保全	取水量の把握と削減	◎	◎	◎	○
		排水の水質管理と水質向上	○	○	○	○
		水リスク評価	◎	◎	◎	○
(5)	生物多様性への配慮	生物多様性保全活動の推進	○	○	○	○
		トレーサビリティの確保	○	○	○	○
		生物多様性に配慮した資源の利用	○	○	○	○
(6)	化学物質管理	含有化学物質の管理と情報提供	◎	◎	◎	◎
		VOC、PRTR 対象物質排出量の削減	○	○	○	○

◎：取り組みおよび提出・報告をお願いするもの

○：取り組みをお願いするもの

(1) 環境マネジメント

NOK グループでは組織的に環境保全活動を実施し、持続的改善および法令の遵守に取り組んでいます。仕入先様におかれましても、環境保全活動の継続的改善が実施されるよう体制の構築をお願いいたします。

a. 環境マネジメントシステムの構築

『ISO14001』、『エコアクション 21』等の外部認証取得と継続、またはそれに準じた管理をお願いいたします。

b. 法令の遵守

仕入先様の事業活動に関わる、環境に関連する各国、各地域の法令の遵守をお願いいたします。

(2) 温室効果ガス（GHG）の削減

NOK グループでは、ライフサイクル全体の GHG 排出量把握と削減に取り組んでおります。仕入先の皆様におかれましても、GHG 排出量の把握および削減目標の設定と継続的な改善取り組みをお願いいたします。

a. ライフサイクル全体での温室効果ガス（GHG）排出量の把握と削減

原材料調達から製造、使用、廃棄に至るまでの各段階における GHG 排出量を把握し、削減に向けた取り組みをお願いします。

b. エネルギー使用量の把握と効率向上

製造・物流・サービス提供におけるエネルギー消費量を定量的に把握し、継続的な効率改善の取り組みをお願いいたします。

c. 物流における GHG 排出量の削減

委託物流および納入物流において、GHG 排出量の把握をお願いいたします。また、輸送手段の見直し、積載効率の向上、共同配送の活用などにより、物流に伴う GHG 排出量の削減に努めてください。

(3) 資源循環の推進

NOK グループでは、限りある資源の有効活用や再生材の活用、廃棄物の削減を通じて、原材料による持続可能性への悪影響を最小化し、循環型社会の構築に貢献することを目指しています。仕入先の皆様におかれましても、資源循環に関する取り組みにご協力をお願いします。

a. 枯渇性資源の使用量削減

石油・金属などの限りある資源の使用を抑えるため、代替素材の活用や設計・製造工程での省資源化を通じて、資源の有効利用を図ってください。

b. 再生材の活用

製品や部材の選定において、可能な限り再生材やリサイクル原料の活用を検討いただき、積極的な資源循環の促進に向けた取り組みをお願いいたします。

c. 廃棄物の削減

製造・梱包・輸送などの各工程における廃棄物の抑制と適正な処理をお願いいたします。また、廃棄物の再利用・リサイクルを通じて、環境負荷の低減に努めてください。

(4) 水資源の保全

水資源は、持続可能な社会の実現に向けた重要な資源であり、近年では世界的にその不足が深刻な課題となっていることから、NOK グループでは、各国・各地域で水資源の有効活用と保全を推進しています。仕入先の皆様におかれましても、水資源の保全の取り組みへのご協力をお願いします。

a. 取水量の把握と削減

事業活動における取水量を定期的に把握し、可能な範囲で取水量削減に努めてください。

b. 排水の水質管理と水質向上

排水の水質管理を適切に行っていただくようお願いいたします。また、法令を遵守するとともに、地域環境への影響を最小限に抑えるよう水質向上に向けた取り組みにご協力ください。

c. 水リスク評価

安定した水資源の調達と環境保全の両立を目指すため、事業拠点における水資源リスクを把握し、そのリスクに応じた取り組みをお願いします。

(5) 生物多様性への配慮

NOK グループでは、ネット・ポジティブ・インパクト（Net Positive Impact）の実現に向け、事業活動が自然環境に与える影響を評価し、リスクの低減に努めるとともに、地域の特性に応じた生物多様性保全活動を推進しています。木材由来素材の調達については、森林破壊につながる森林からの調達を回避し、森林破壊ゼロをめざします。仕入先の皆様におかれましても、生物多様性保全の取り組みへのご協力をお願いします。

a. 生物多様性保全活動の推進

事業活動における生物多様性との関わりを適切に把握し、原材料調達、製造、輸送、廃棄等の各工程において、自然環境への影響を緩和する取り組みをお願いします。

b. トレーサビリティの確保

事業に関する影響を正確に把握するために、トレーサビリティを強化し、原産地情報について可能な範囲で把握できるよう努めてください。

c. 生物多様性に配慮した資源の利用

各国・各地域での原材料の調達活動において、生物多様性リスクの高い地域[※]からの調達を回避するようご協力をお願いします。また、生物多様性への影響が大きい原材料については、可能な範囲で影響の低い原材料の活用を検討するようお願いいたします。

※ 法的な保護区や希少種の生息地を含む

(6) 化学物質管理

NOK グループでは、事業活動で使用・排出される環境負荷のある化学物質を削減し、汚染物質による社会への影響を軽減・回避するため、国内外の法規制の遵守および環境負荷物質のリスク管理の徹底を実施しております。仕入先の皆様におかれましても、化学物質の管理の徹底をお願いします。

a. 含有化学物質の管理と情報提供

製品の安全性と環境負荷低減のため、含有化学物質の適切な管理と関連法規の遵守、製品中の化学物質に関する正確な情報提供をお願いします。詳細については、「付属書」を確認ください。

b. VOC、PRTR 対象物質排出量の削減

製造工程における VOC および PRTR 対象物質の使用量・排出量を可能な限り削減してください。また、代替可能な場合は、低 VOC または非 PRTR 対象物質への切り替え検討をお願いします。

4. ガイドラインの取扱いについて

仕入先様に対する当ガイドラインの取扱いは以下のとおりです。

- (1) 新規の仕入様先には、取引が開始される際、当ガイドラインをグループ各社所管部署より連絡いたします。
- (2) グループ各社より、個別に提出書類の要請があった場合は、別途対応をお願いいたします。
- (3) 当ガイドラインは、改定都度、対象仕入様先へグループ各社所管部署より連絡いたします。

5. 個人情報の取扱いについて

ご記入いただいた仕入先様の個人情報は、グリーン調達関連事項のみに使用いたします。

6. 「NOK グループ グリーン調達ガイドライン」に関する問い合わせ先

◆グループ各社の調達窓口

当ガイドライン全般に関するご意見などは当社ホームページよりお問い合わせください。

当社公式ホームページ 「お問い合わせ」より

<https://www.nokgrp.com/contact/company/>